

千葉市感染症発生動向調査情報

2019年 第32週 (8/5-8/11) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		32週	31週	30週	29週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	15	18	18	17
	眼科	4	5	5	5
	インフルエンザ*	22	28	28	27
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	8/5-8/11	7/29-8/4	7/22-7/28	7/15-7/21	7/29-8/4
			32週	31週	30週	29週	31週
小児科	RSウイルス感染症	↓	20 1.33	33 1.83	28 1.56	5 0.29	205 1.53
	咽頭結膜熱		4 0.27	11 0.61	7 0.39	5 0.29	48 0.36
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19 1.27	15 0.83	22 1.22	10 0.59	225 1.68
	感染性胃腸炎		30 2.00	70 3.89	96 5.33	43 2.53	381 2.84
	水痘		3 0.20	14 0.78	2 0.11	1 0.06	44 0.33
	手足口病	★★★↓	159 10.60	245 13.61	353 19.61	269 15.82	1433 10.69
	伝染性紅斑		12 0.80	17 0.94	15 0.83	12 0.71	93 0.69
	突発性発しん		13 0.87	9 0.50	8 0.44	9 0.53	60 0.45
	ヘルパンギーナ		11 0.73	34 1.89	37 2.06	34 2.00	249 1.86
	流行性耳下腺炎		1 0.07	1 0.06	2 0.11	0 0.00	11 0.08
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.04	26 0.12
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎	○	7 1.75	5 1.00	1 0.20	4 0.80	19 0.58
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

2 全数報告対象疾患(10件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	病原体の検出	百日咳	男性	10歳代	抗体の検出
結核	女性	30歳代	病原体の分離・同定	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
結核	女性	50歳代	IGRA検査	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
侵襲性肺炎球菌感染症	女性	70歳代	病原体の分離・同定	風しん	男性	20歳代	病原体遺伝子の検出
百日咳	男性	10歳代	病原体遺伝子の検出	風しん	男性	30歳代	病原体遺伝子の検出

・第32週は、結核3件(118)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(10)、百日咳4件(97)、風しん2件(42)の報告があった。

※ ()内は2019年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第32週のコメント

＜RSウイルス感染症＞前週より減少し1.33となった。過去10年の同時期と比べると最多のまま。

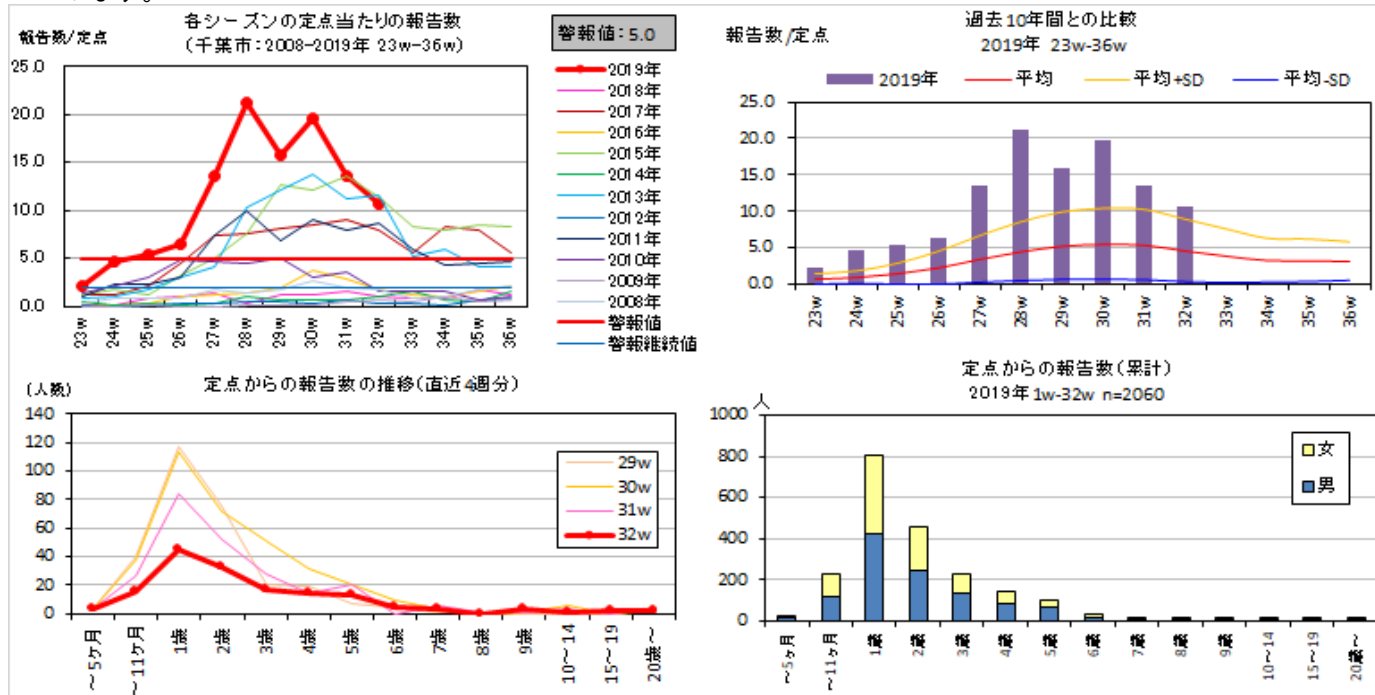
＜手足口病＞前週より減少し10.60となったが、過去10年の同時期と比べると多く、美浜区以外のすべての区で流行発生警報開始基準値を上回っている。

＜流行性角結膜炎＞前週より増加し1.75となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

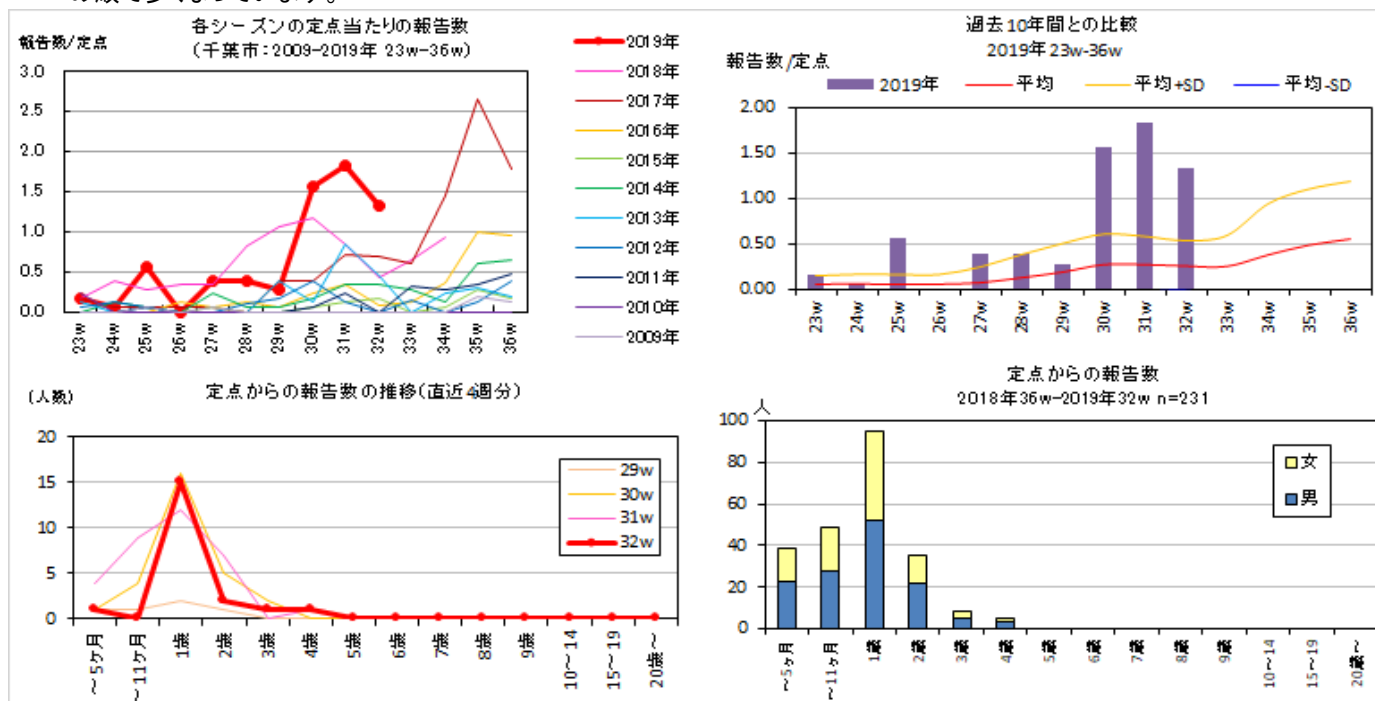
<手足口病>

全国レベルの第31週の定点当たりの報告数は10.54で流行発生警報開始基準値(5.0/定点)を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると最多。都道府県別では宮城県、山形県、長野県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は10.69で、全国レベルとほぼ同レベルとなっています。千葉市の第32週は前週より減少し10.60となりましたが、過去10年の同時期と比べると多く、流行発生警報開始基準値を上回ったままとなっています。区別の発生状況は、美浜区以外のすべての区で流行発生警報開始基準値を上回っており、若葉区(29.0/定点)で最多、同区の2歳と5歳で最も多く発生報告がありました。美浜区(4.67/定点)では流行発生警報終息基準値(2.0/定点)を上回っています。2019年第1週から第32週までの累積報告数は2060件で、性別では男性が54.3%(1118名)、女性が45.7%(942名)となっており、年齢階級別では1歳(38.9%:801名)、2歳(22.3%:460名)、6-11か月及び3歳(10.9%:224名)の順で多くなっています。



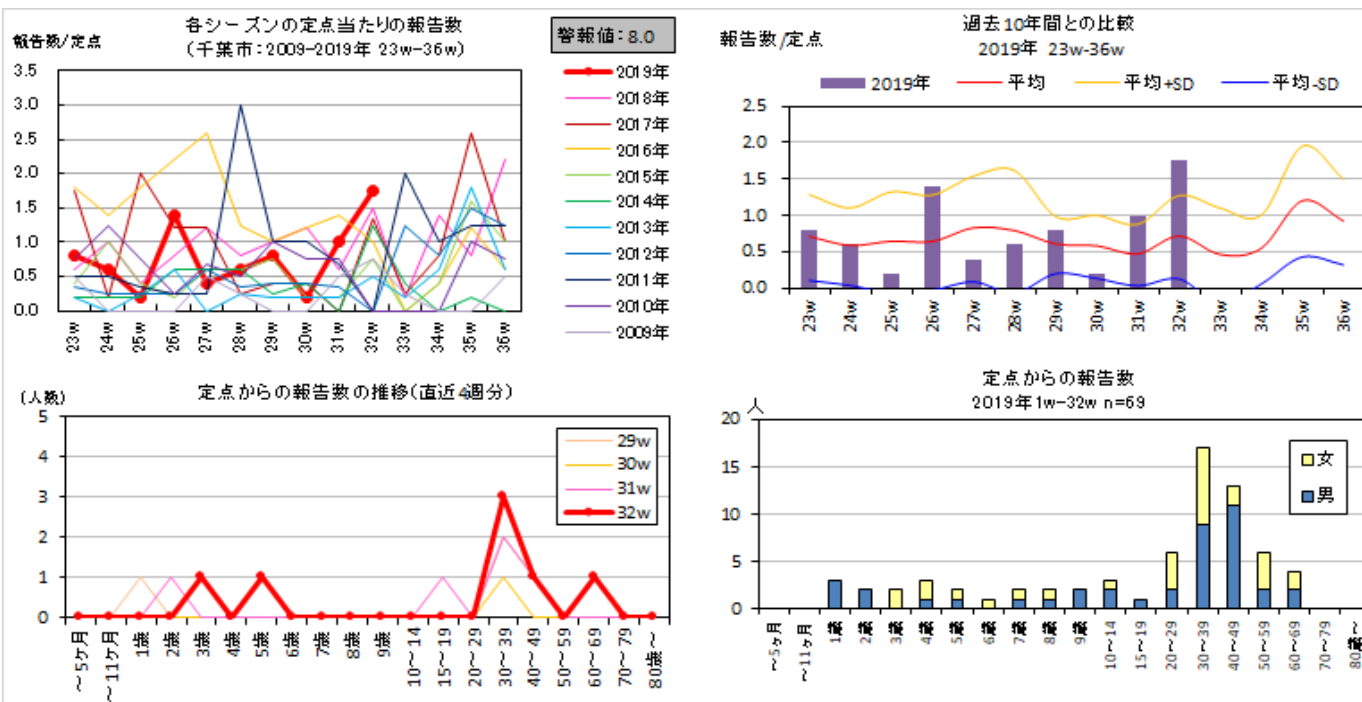
<RSウイルス感染症>

全国レベルの第31週の定点当たりの報告数は1.40となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では宮城県、沖縄県、福岡県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は1.53で、全国レベルとほぼ同レベルとなっています。千葉市の第32週は前週より減少し1.33となりましたが、過去10年の同時期と比べると最多のままととなっています。区別の発生状況は、美浜区(2.33/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から2019年第32週までの累積報告数は231件で、性別では男性が57.6%(133名)、女性が42.4%(98名)となっており、年齢階級別では1歳(41.1%:95名)、6-11か月(21.2%:49名)、0-5か月(16.9%:39名)の順で多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルの第31週の定点当たりの報告数は0.77となり、過去10年の同時期と比べるとほぼ同レベルとなっています。都道府県別では鹿児島県、愛媛県、熊本県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.58で、全国レベルよりやや少なめとなっています。千葉市の第32週は前週より増加し1.75となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況は、若葉区(7.0/定点)で最多で、同区の30歳代で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第32週までの累積報告数は69件で、性別では男性が58.0%(40名)、女性が42.0%(29名)となっており、年齢階級別では30歳代(24.6%:17名)、40歳代(18.8%:13名)、20歳代及び50歳代(共に8.7%:6名)の順で多くなっています。



＜風しん＞

全国レベルの第31週の発生届累積数は2061件で、昨年の同時期と比べるとおよそ20倍以上となっています。都道府県別では、東京都、神奈川県、千葉県の順で多く報告されており、関東地方で多くなっています。千葉市では第32週に2件の発生届があり、2019年の累積数は42件となりました。性別では男性が78.6%(33名)、女性が21.4%(9名)となっており、年齢階級別では30歳代(33.3%:14名)、40歳代(31.0%:13名)、20歳代(14.3%:6名)の順で多く、30歳代~40歳代の男性が中心となっています。ワクチン接種歴は、無し又は不明が全体の8割を占めています。

